

ふく チャレ

みんなの「わ」を大切に、 和やかな味わいを届けたい



小林靖さん(左)と杜氏の猪俣一徳さん。地元で第一人者の杜氏を招いて、香り高く、甘みと酸味のバランスがとれたお酒ができました。

男山酒造店
こばやし やすし
小林靖さん

創

業1865年、会津美里町の蔵元「男山酒造店」は

1998年から生産を休止していましたが、先代のおい小林靖さんが跡を継ぎ、今年1月、約20年ぶりに新酒が発売されました。

この酒蔵は小林さんの母方の実家で、幼い頃から夏休みには必ず訪れていました。3年前に親族から「酒造免許を返すかもしれない」と聞いた時、小林さんの胸中に「あの場所をなくしたくない」という思いが込み上げました。

その年に千葉県から移住、福島県清酒アカデミーで酒造りを学び、会津若松市の蔵元で修行。そして、新酒「会津男山ーわー純米酒」が誕生しました。「本当にたくさんの人たちに支えてもらい、蔵を再生することができました。」



再生が実現した蔵元。風情あるたたずまいが守られました。



「わ」には、味わった人に和やかさをもたらしたいとの願いも込められています。



幼い頃、駆け回った広い蔵。祖父との思い出も詰まった場所です。

これからも支えてくださる方、飲んでくださる方、そういう方々のつながりの「わ」を大きくしていきたいです。初心を忘れず酒造りを続けたい、と語る小林さんの目は輝いていました。